

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp

URL：http://j-jafra.jp/

巻頭レポート

四国管内における交通広告事情とその対応策

株式会社ジェイアール四国企画
営業部
西岡 秀城

JR四国管内における交通広告の推移

四国における鉄道の利用状況は、人口減少や高速道路料金の割引施策の影響等により利用者減の傾向が続いている。平成28年度末には、訪日外国人客の増加や地域における多様な観光施策等により、持ち直しの傾向が見られるものの、平成19年度以前には及ばない利用状況となっている。

交通広告収入についても、大手企業の地方拠点における広告予算の本社への集約が進むとともに、鉄道利用者への減少に伴う広告効果の低迷等により減少傾向に歯止めがかからない状況にある。

このような状況の中、弊社管内の交通広告収入は、10年前の平成19年度を100とした場合、直近の平成28年度は71という水準まで低減している。

この減収の要因を具体的に探っていくと、1件当たりの販売金額が大きいサインボードの契約件数の減少、

駅ポスターや車内吊り等の普通広告の急速な減少によるものと推測できる。

四国管内のサインボードは、観光または商業施設や土産物、駅周辺の病院、大学や専門学校が主なお客様で、企業イメージまたは認知度向上を目的とした大手企業のサインボードは減少傾向にある。駅ポスター・車内吊り等の普通広告についても、鉄道の輸送人員の減少に連動するよう、平成19年度から2、3年間で急激に減少し、同様の状況となっている。また、大手企業等において、広告宣伝予算が地方拠点から首都圏等の本社主導への集約が進み、四国内での予算執行が減少したことも要因の一つであると考えられる。

従来からの交通広告媒体が低迷する一方で、デジタルサイネージやトラスサイン等の短期媒体の利用状況は比較的好調に推移し、近年ではサインボードや駅ポスター等の減少を補う、という形で交通広告収入の維持に貢献している。

弊社における短期媒体の販売傾向

デジタルサイネージを含む短期媒体をご利用いただいているお客様のうち、最近増加しているのは大学の教育機関で、四国内の大学だけではなく、京阪神や岡山・広島地区の大学の出稿も近年増加傾向にある。

実際に大学の入試広報担当者から現状を伺ってみると、従来からのポスターや看板に加えて、Webサイトなど学生募集の手法が多様化していることへの対応やオープンキャンパスや入試等のスケジュール情報のタイムリーな発信を重点課題と考えており、デジタルサイネージ等の短期媒体は、これまでの駅ポスターやサインボードに比べて、制作費用が比較的安価で、かつ容易に広告内容を変更することが可能であることが媒体をシフトしている理由として考えられる。

また、本州と四国間の鉄道や高速バス等の交通ネットワークの多様化により四国の在住者にとっての意

識的な距離が縮まってきていること、大学の設置エリア内の学生数が足りないために四国の学生もターゲットとして捉え始めたことも一因だと考えている。

交通広告収入の確保に向けた取り組み

このような傾向の中で、弊社として交通広告収入を確保するためには、より利用しやすい、より訴求力の高い広告媒体をお客様に提供する必要があります。



画面を増設した高松駅デジタルサイネージ

デジタルサイネージについては、平成24年から毎年、高松駅、松山駅、徳島駅、高知駅へと設置し、「四国」としてのデジタルサイネージネットワークを実現した。また、「こんぴらさん」の玄関口として観光客で賑わう琴平駅においても、昨年12月からデジタルサイネージを稼働させている。これは、琴平駅駅舎の耐震補強に伴うリニューアル工事において既設サインボードが当該工事に支障するとともに、移設先が駅構内に確保できないことが判明したことから、関係箇所との調整の上、60インチデジタルサイネージ用の設置スペース



リニューアル後の琴平駅全景

四国管内の交通広告収入



※いずれも平成19年度を100とした場合



挨拶する小濱支部長



講演会

九州支部（小濱和彦支部長）では、8月28日（月）、九州支部会員25社と賛助会員3社の計28社（5社欠席）にご参加いただき、平成29年度九州支部総会を開催しました。総会では、小濱支部長の挨拶後、平成29年度事業計画（案）、予算（案）の審議に移り、それぞれ承認されました。

九州支部総会を開催

九州支部

九州支部（小濱和彦支部長）では、8月28日（月）、九州支部会員25社と賛助会員3社の計28社（5社欠席）にご参加いただき、平成29年度九州支部総会を開催しました。総会では、小濱支部長の挨拶後、平成29年度事業計画（案）、予算（案）の審議に移り、それぞれ承認されました。

引き続き開催された講演会では、JAFRA本部の加藤専務理事をお招きし、「鉄道広告の事故防止」について講演いただきました。九州支部としては、初めての安全講習会でしたので、皆さま熱心に耳を傾けられておりました。懇親会では、平成29年7月に発生した九州北部豪雨で甚大な被害を受けた朝倉市

を支援する意味を込めて、朝倉で製造されたお酒や、生産された野菜や果物を購入し、会員の皆さまに御賞味いただきました。28社50名の方にご参加いただき、情報共有と親睦を深める会となりました。

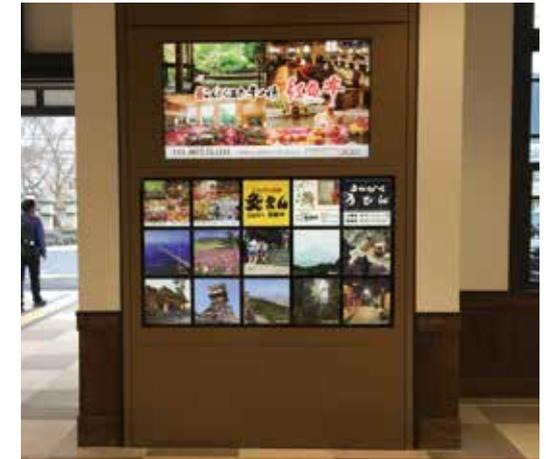


懇親会で出された朝倉の野菜と果物



同じく朝倉のお酒

ご多忙の中、講演いただきました加藤専務理事に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



琴平駅構内デジタルサイネージ▲▼



支部便り

を確保し、その中に広告を収容することで、ほぼ全てのお客様が継続、という経緯で設置したものであったが、サイネージの放映枠を拡大することで既存お客様に加えて、新規契約を数件追加することができた。今回の方法によって、耐震補強等の駅舎内での工事等を理由とした広告媒体の支障移転が発生した場合においても、既存お客様へのご迷惑を極力少なくしつつ、広告収入の確保につながるモデルを確立ができたと考えている。

まとめ

冒頭の数値にも示されているように、四国における交通広告を取り巻く環境は、今後も厳しい状況が続いていくと予想されるが、お客様の目標とするものや課題を敏感に感じ取り、「広告」という手段をご提供することで、JR四国グループの内外を問わず、お客様の目標達成に向けたサポートならびに弊社の広告収入の確保・拡大に努めていきたいと考えている。

交通広告実務研修の開催

近畿・中国・北陸支部

近畿・中国・北陸支部（山本章義支部長）では、9月27日（水）（株）R西日本コミュニケーションズ8階大会議室において、2017年度「交通広告実務研修」を開催いたしました。

今回の研修では、総勢87名の会員様にご参加いただきました。（テーマと講師は次のとおり）
 《第一部》
 「交通広告が注目を得るために必要



土屋樹一氏



山本孝氏

とトピックス」
講師…(株)ジェイ
アール東日本企画
交通媒体本部 デ
ジタルサイネージ
推進センター長
山本孝氏

「なポイント」事例紹介をまじえ」
講師…(株)J R 西日本コミュニケーションズ
企画部 課長 土屋樹一氏

《第二部》
「交通広告とスマートフォン連携について」首都圏交通広告のトレンド

山本章義支部長挨拶

本日はJAFRA近畿・中国・北陸支部の交通広告実務研修に多数ご参加いただきましてありがとうございます。

この研修は、代理店各社の将来を担うであろう若手の実務担当者に向けて、交通広告を販売していただくうえで役に立つ情報や、最新のトレンドをお伝えする目的で、毎年実施しております。

本日は、第一部で(株)J R 西日本コミュニケーションズの土屋様より「交通広告が注目を得るために必要なポイント」事例紹介をまじえ」第二部で(株)ジェイアール東

最後に、富田副支部長より研修の感想を交えた挨拶をいただき、閉会となりました。
ご多忙な折り今回の研修にお時間を割いていただきました講師の二人に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

日本企画の
山本様より
「交通広告
とスマート
フォンの連携について」首都圏交通
広告のトレンドとトピックス」と
いうテーマでご講義いただきます。



挨拶する山本章義氏

広告業界全体の広告費は、上昇あるいは水準を保っていますが、媒体の比率は大きく変化しております。交通媒体についても徐々に長期低落傾向にあります。媒体に注目をあびるために様々な工夫をしていく必要

があります。それについては第一部の土屋様より事例を交えて紹介してもらいますので是非参考にしてください。もう一方でO O H媒体は独

中部支部

中部支部総会を開催

中部支部(阿久津光志支部長)は、7月24日(月)JRセントラルタワーズ33F(株)ジェイアール東海エージェンシー会議室において、支部総会を開催した。
日時…7月24日(月) 17時30分～17時55分
会場…JRセントラルタワーズ33F

立して価値を維持するのは難しく、今後インターネット広告等とネットワーク化が進んでいくことにより、交通広告の価値が再認識され、向上していくものではないかと多くの方が考えています。山本様はJAFRAの技術開発委員会メンバーとしてこのような問題に具体的に取り組み、実務の面でもジェイアール東日本企画で実現されてきた方ですし、様々な角度からお話ししていただけたと思います。
少し長い研修となりますが、前半も後半も角度の違った興味深い講演となると思いますので、ご聴講宜しく願います。

(株)ジェイアール東海エージェンシー
会議室
出席者…会員社36社中27社、委任状
7社

総会は、支部会員36社のうち34社が出席(本人出席27社、委任状出席7社)、支部運営規則第15条の規定により、本総会が成立。続いて、支部運営規則第14条の規定に基づき、事務局より東海広告(株) 高橋公比古代表取締役社長が指名され、以下の6つの議案について審議が行われた。

第1号議案「平成28年度事業報告(案)」および第2号議案「平成28年度決算(案)」について

第3号議案「平成29年度事業計画(案)」、第4号議案「平成29年度予算(案)」および

第6号議案「中部支部運営規則の改正(案)」について

第5号議案「役員選任(案)」について

事業報告および決算については、会計責任者の表示灯(株) 長尾取締役名古屋支社長より監査の結果適正である旨の報告があった。

また、中部支部への新規入会社(株)ジェイアール東日本企画 中部支社)について報告、挨拶があった。

以上、全て満場一致で原案通り承認され、議長が本総会での目的事項を全て終了したことを宣言し、中部支部平成29年度定期総会は閉会と

なった。

支部総会終了後に、名古屋マリオットアソシアホテルにて26社57名が参加して懇親会を行った。中部支部幹事の(株)中央廣告 矢田篤識代表取締役社長の挨拶・乾杯に始まり、フジヤ広告(株) 橋川寛治代表取締役社長の中締めにて終了。出席した支部会員は和やかな雰囲気の中、各社との親睦を深め、楽しんだ。



乾杯の発声をする(株)中央廣告代表取締役社長 矢田篤識氏

阿久津光志支部長挨拶

早いもので、昨年の中部支部総会から1年が経った。昨年の今頃は、イギリスのEU離脱などで世の中がグローバルリズムからナショナリズムに変化していると言われていた時期であった。最近も世界では色々な動きがあり、世界全体が不安定・不確定な状態である。そのような中、鉄道の需要は底堅く支えられている。名古屋を中心とした中部地区では、JRゲートタワーの開業や伏見・栄の再開発など、鉄道を取り巻く環境は大きく変化・成長している。中部地区に人々が集まることで、鉄道広告

中部支部セミナーを開催

また、中部支部では、10月16日(月)JRゲートタワー16階ゲートタワーカンファレンスにおいて、中部支部セミナーを開催した。今回は(株)リサーチ・アンド・デイベロプメント ビジネスプロデューサーの堀好伸氏を講師にお招きし、「若者の消費行動くシミュレーション消費」を乗り越え「〜」をテーマでセミナーを開催し、22社58名の参加があった。



挨拶する阿久津支部長

の存在を人々に認知していただく良い機会であると考えられる。しかし、今まで通りの広告ではなく、それぞれの媒体の魅力を活かした広告づくりをしていかななくてはいけないだろう。鉄道広告は広告主、代理店の皆様の協力のうえに成り立つものである。広告業界全体が厳しい目にさらされている面もあるが、社会に対し夢を持ちその意義を考へていく。これからの皆さんの一層のご協力をお願いしたい。

セミナーでは、一見「欲がない」「モノを買わない」とも取れる若者の消費行動は実際には異なっており、実は若者の意識が大きく変わったのではなく社会環境が大きく変化した結果であること、また今後はますます本質に回帰したコミュニケーションの重要性が高まることを具体的な事例を元にお話いただいた。鉄道広告にとっても若者の消費は密接な関係を持つことから、多くの参加者は若者世代の消費スタイルを理解するいい機会として熱心に耳を傾けていた。



セミナー講師の堀好伸氏

首都圏支部

交通広告実務研修を開催

首都圏支部(原口宰支部長)では10月25日(水)、ジェイアール東日本企画10F大会議室において、交通広告に携わってまだ日の浅い若手社員を対象とする「交通広告実務研修」を開催しました。この研修は、交通広告に関

する実務の基礎を学べるものです。原口支部長の挨拶の後、次のカリキュラムで講義が実施されました。当日は、24社50名の皆さまが参加され、熱心に講義に耳を傾けていました。
(カリキュラム)
9時45分 原口首都圏支部長挨拶
10時00分 交通広告ビジネス概論 講師・金沢一幸氏
(株)メトロアドエージェンシー 媒体本部 媒体戦略局
交通広告の概要と実務に関する講義
① 交通広告の変遷
② 交通広告の種類・名称
③ 交通広告の特性
④ 交通広告の市場規模
⑤ 交通広告の業務フロー
11時10分 交通広告の展開事例に関する研修



石黒孝夫氏



金沢一幸氏



紫藤裕二氏



吉田勝広氏

講師・吉田勝広氏
(株)オリコム OOHメディア局

交通広告の展開事例に関する講義
13時30分 交通広告の倫理綱領、掲

原口宰支部長挨拶

大変お忙しい中、足元の悪い中、JAFRAの研修会に大勢ご参加いただきありがとうございます。セミナーの開講にあたりひとことご挨拶いたします。

弊社の新入社員と色々な話をしますが、これで大丈夫かと思うことが時々あります。どこの新聞を読んでいるのかと聞くと「新聞は取っていない」というのです。最近の若い人の特徴として、家で新聞を取っていない、車を運転しない、車を持たない人がとても多いと聞きますが、雑誌を買わない、新聞を買わないという人もものすごく増えています。では、どうやって情報収集するのか聞くと、ネットでいくらかでも取れますと、それはまったくおっしゃる通りです。そのことが広告業界にも大きな地殻変動をもたらし、新聞、雑誌などいわゆる紙媒体の比率がどんどん落ち、2年後とも3年後とも、ネット広告の総売り上げがテレビを超える日が近未来的に来るだろ

出基準に関する講義

講師・石黒孝夫

(株)ジェイアール東日本企画 交通媒体局 審査部

うといわれています。その中で今日皆さまにセミナーを通じて考えていただきたいのは、我々の交通広告の世界はどうでしょうか、右肩下がりというより本当に横ばいで必死にこらえている、ある意味健闘していると言えます。考えてみれば紙の媒体というものは、積極的にその媒体を手にしなければ見ることはありませんが、交通広告というのは人が移動する限りにおいては、目に飛び込んでくる、半強制的な媒体であるという特徴があります。「交通広告がすごく好きだ」、「交通広告の持っているその特徴を生かしたいのだ」とおっしゃるありがたいクライアントがたくさんいることも事実です。そのことが今の交通広告の健闘というか、必死に現状維持を続けている状況を支えているのだと思います。少しひいき



原口支部長

交通広告の倫理綱領、掲出基準に関する講義

14時30分 安全研修

講師・紫藤裕二氏

目かもしれませんが、交通広告は間違いなくネットの購買者と親和性が高いはずですが、なぜならば、人は移動する時には起きているからです。ネットの購買者は交通広告の敵だと言われます。「電車を見てごらんください、7、8割の人がスマホを見ているだけで、今まで、交通広告、例えば中づりや窓上、或いは駅のポスターに目を凝らしていた人たちが、皆スマホを見ているから、バッテリーがなくなるのではないか」と言われます。むしろ敵は「椅子で寝ている人」であって、「起きている人間」というのは、受動的か能動的であるかとはかく、スマホという媒体を通じて「情報を獲ろう」としている、或いは「何らかの情報とアクセスをしている」わけです。その脳が覚醒している人と交通広告とインターネットとの間で親和性を高めれば、間違いなく交通広告はネットと仲良くなりながら発展できるはずだと、交通広告に携っているありとあらゆる人間が思っているのです。ただ問題は、その方法です。入り口がたくさんあ

(株)ジェイアール東日本企画 交通媒体局設備・安全対策部
交通広告の掲出・撤去作業時の安全対策に関する講義

登山口を通れば早く頂上へ達することができるとか、途中に崖はないのかがよく分からない。その分らない中で手探りをしているという状況です。交通広告は恐らくこれから主流になるネット広告と親和性を持たなくてはならない広告であり、そういう意味では発展性がある広告であるということ、共有すべき考え方として、若い皆さんにはそれを前提として色々な柔軟な考え方でアイデアを出していただきたい。大事なことは、それを形にして、「面白いことを考えるね」と言われながら、クライアントに喜んでいただけるという状況を一日でも早く作らなくてはいけないことと考えております。今日一日長いようで短いと思います。受け身の姿勢で、「なるほど交通広告とはそんなものか」という方もいらっしゃるでしょうけれど、ぜひ頭のどこかに「交通広告これからどうするか」ということの問題意識を持ちながら、今日一日過ごしていただければ、極めて有意義な一日になるかと思えます。

広場

「サッカーワールドカップ観戦記」

常任理事 大塚 尚司 (株式会社オリコム)

「JAFRA NEWS」12月号が皆さんのお手元に届いていると思われる12月1日にワールドカップロシア大会の組み合わせ、日程が決定します。
2018年6月14日開幕に向けて世界中が大いに盛り上がると思うとウキウキしてきます。



ブラジルワールドカップ日本初戦の朝、JAPANユニフォームを着てレシフェのビーチ!!

サッカーのワールドカップの存在を知ったのはブラジルのキング・ペレが大活躍した1970年メキシコ大会でした。小学校4年生からサッカーを始めた私が6年生12歳のときです。

テレビ東京の「ダイヤモンドサッカー」で故岡野俊一郎さんが解説して、アナウンサー金子さんとの名コンビで日本に、そして私に1年をかけてサッカーワールドカップのすごさを教えてくれました。

当時の日本のサッカーは釜本、杉山が活躍した1968年メキシコオリンピックで銅メダルを獲得(私はこのブームでサッカーを始めました)してから、1996年前園、中田ヒデの活躍でブラジル

を破った「マイアミの奇跡」まで、ワールドカップどころかオリンピックでさえ出場出来ない暗黒の時代でした。

日本が予選敗退を繰り返して出場できなかったワールドカップは、70年メキシコ大会後もベッケンバウアーVSクライフの74年大会、ケンペスの78年大会、ブラジル「黄金のカルテット」がロッシに蹴された82年大会、「ゴッドハンド」と「5人抜き」マラドーナの86年大会と大いに盛り上がっていました。

暗黒の日本サッカー時代の私にとって、ワールドカップは遥か彼方の別の世界で行われている印象でした。

そんな86年メキシコ大会に高校時代のサッカー部の恩師が奥様とワールドカップ観戦。

そのお土産話を聞き「日本人も観戦していいんだ」と気がついたわけです。



サンパウロの空港で歴代のワールドカップ使用球と!!

90年イタリア大会は、準決勝2試合と決勝を観戦。
地元イタリアがマラドーナ率いるアル

ゼンチンにPK戦で惜敗。満月のナイトゲームでナポリの観衆8万人のオーソレミオは忘れられないです。

トリノでの準決勝、西ドイツVSイングランドはチケットをミラノのホテルに忘れて大騒ぎ!!

94年アメリカ大会は前年の「ドーハの悲劇」で日本が初参加のチケットを失った大会でした。サンフランシスコでブラジルを2試合観戦。その間にボストンに飛んでアルゼンチンのマラドーナを応援。マラドーナはこのナイジェリア戦後のドーピング検査で陽性反応が検出され、永久追放になってしまいました。マラドーナ最後のアルゼンチン代表のユニフォーム姿を見ることになってしまいました。

98年フランス大会は、「ジョホールバルの歓喜」(この試合も弾丸ツアアで応援に行きました)で予選突破して日本が初参戦した大会です。

リヨンでのジャマイカ戦で中山ゴンの歴史に残る日本初得点は見られましたが、日本は惨敗。

2002年は日韓共催大会。小学校6年生の息子と浦和、鹿島、ソウル、そして家族4人で宮城と4試合観戦。宮城での「死のF組」アルゼンチンVSスウェーデン戦は決戦でしたが、妻と娘はどの国が対戦したかも覚えていません。

スタジアムからの帰りのバス乗り場が

広場

大混乱だったことが記憶に残ったようです。

息子と観戦したソウルでの準決勝の韓国VSドイツ。真っ赤に染まった6万人の「チーハミング」は迫力満点！

2006年ドイツ大会はジーコジャパン。日本が予選リーグを突破する予定で決勝トーナメントを観戦。日本がオーストラリアに完敗したため、カイザーラウテルンでオーストラリアVSイタリアを観戦。

イタリアのお兄さんに「日本は負けたのに、なんでスタジアムに来てるんだ」みたいなことを言われましたが、優勝したイタリアが大苦戦ですごく面白かった。試合前のアップで、バックスタンドの私の目の前でイタリア先発選手の5対5

のミニゲーム。ピルロ、ガッツォ、カンナバーロ、トッティ・・・圧巻！！

2010年南アフリカ大会は残念ながら参加できませんでした。

2014年ブラジル大会は妻と参戦。ロス、サンパウロ経由で日本の第1戦会場レシフェまで約40時間かかりました。そこで初めて7泊11日の日程の意味を理解。

ナタルでの第2戦も日本はあまりにも不甲斐ない試合内容で勝利をつかめず。試合よりも、観光に行った「イグアスの滝」に感動!! すごくあった!!

ワールドカップは、毎回6月上旬から7月上旬にかけて1ヶ月間開催されます。

弊社の株主総会は、毎年6月の中旬から下旬に開催。

前年度の業績が悪いと、参戦しにくいタイミングなんですね。そんなわけでリーマン

ショック後の南ア大会は不参加でした。現在、ロシア大会に行かれるよう社員を鼓舞しています!!



イグアスの滝! 虹が出て感動!!

次回もお楽しみに。

事務局からのお知らせ

理事会開催のお知らせ

第2回理事会を次の日程で開催します。役員の皆さまはよろしくお願ひします。また、決定事項につきまして、次号のJAFRA NEWSで報告いたします。

日時: 12月7日(木) 15時30分
会場: JR恵比寿ビル10F(株)ジェイアール東日本企画大会議室

2018年広告界合同年賀会のご案内

毎年恒例の年賀会は以下の予定でございます。

日時: 2018年1月5日(金) 15時30分~17時
会場: 帝国ホテル本館2階孔雀の間

年始のお忙しい時間ではございますが、お待ちしております。

編集後記

2017年の最終号になりました。近所の神社では既に来年の干支、戌の絵馬がスタンバイしています。とりあえず、「今」が1番若いんだからという自覚を持って日々を過ごそうと決めました。かなり早い年末のご挨拶となりますが、2017年もありがとうございました、2018年は発展の年になると思います。来年もよろしくお願いいたします。



●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@j-jafra.jp

●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ(<http://j-jafra.jp>)の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。

●次号Vol.46は2月1日発行予定です。お楽しみに。